

身の回りの製品などによる事故対策の強化

<事故被害の拡大を防ぐ仕組み>

現 状

事故発生

※情報は各省庁・自治体・事業者から消費者庁に集められる。



重大事故等は
318件(21年度)
を含む事故情報



情報解析

※集約した事故情報の山から重要なものを見つけ出す。

6件(21年度)

原因調査

製品の問題か、どこに問題があったのか等を調査。



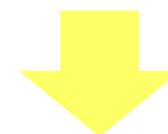
再発防止

※原因調査の結果に応じて、注意喚起や安全基準改正等を他省庁へ要請。

身の回りの製品・食品による事故情報を集めているが、情報の山から重要な案件の探し出し(情報解析)、原因調査を行う人手が不足。(21年度は、重大事故等318件およびその他事故のうち、専門機関と連携して本格的に原因究明を行えたのは6件のみ)

目 標

情報解析、原因調査に取り組む体制を強化し、より多くの重要な事故の再発防止に取り組みたい



8名増員の人件費を予算案に盛り込み

- ・情報解析 3名増(現在の担当者は3名(他の業務と兼任))
- ・原因調査 5名増(現在の担当者は3名(他の業務と兼任))

※非重大の消費者事故等(平成21年度1012件)への対応も課題